

山形市版

介護現場の高齢者 活躍事例集

令和2年3月
山形市介護人材確保推進協議会
山形市福祉推進部長寿支援課

～はじめに～

介護現場における人材不足への対応策の一つとして、高齢者の活躍を促進することが重要ですが、具体的な取組を進めるにあたり不安を感じていないでしょうか。

このような不安を解消できるよう、山形市内の法人の取組事例を事例集にまとめました。

是非ご活用ください。

～目次～

- 1 山形市内の法人の取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・1p
- 2 各法人の取組事例
 - (1) 合同会社ほほえみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2p
 - (2) 医療社団法人楽聖会・・・・・・・・・・・・・・・・・・6p

1 山形市内の法人の取組状況

平成31年2月～4月に山形市が実施した「介護保険サービス事業者実態調査」の結果によると、山形市における高齢者雇用に関する取組状況は以下のとおりとなっています。

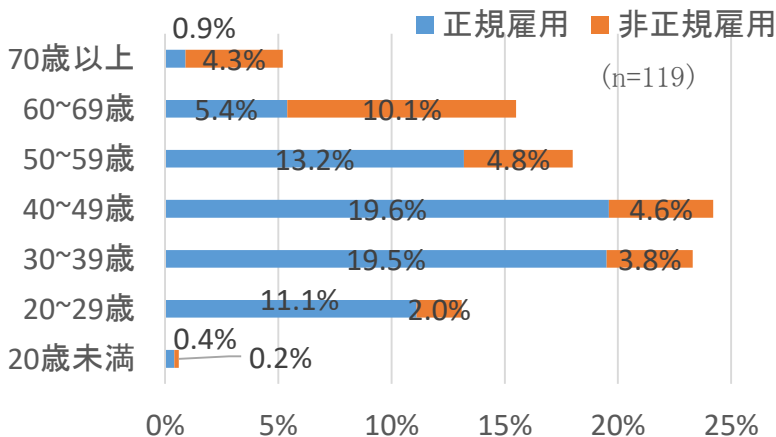
(1) 調査の概要

調査対象：介護保険サービス事業者 164法人(639事業所)
調査期間：令和2年2月28日(金)～令和2年4月10日(金)
回収結果：有効回答数 120法人 (有効回答率 73.2%)

(2) 調査の結果

① 高齢者の雇用形態

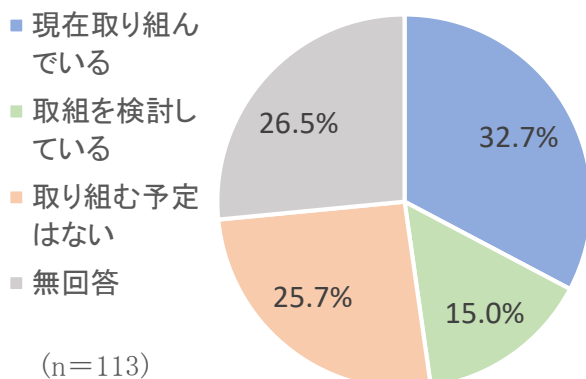
雇用形態を年齢別にみると、60～69歳の方では、「正規雇用」が5.4%、「非正規雇用」が10.1%、70歳以上の方では、「正規雇用」が0.9%、「非正規雇用」が4.3%となっています。



※ 正規雇用：雇用期間の定めのない職員
非正規雇用：雇用期間の定めのある職員
※ 基準日：令和元年12月31日

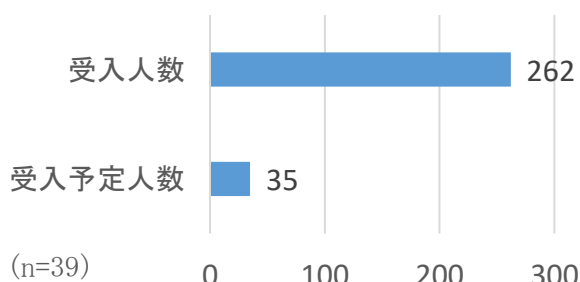
② アクティブシニア人材の確保のための取組状況

アクティブシニア人材の確保のための取組について、113法人の取組状況を見ると、「現在取り組んでいる」が32.7%、「取組を検討している」が15.0%、「取り組む予定はない」が25.7%となっています。



③ 受入(予定)人数

アクティブシニア人材の確保に「現在取り組んでいる」と回答した39法人のアクティブシニア人材の「受入人数」又は「受入予定人数」をみると、「受入人数」は262人、「受入予定人数」は35人となっています。



※ 基準日：令和元年12月31日

2 各法人の取組事例 (1) 合同会社ほほえみ



〈事業所名〉

ほほえみデイ七日町

〈利用定員〉

50人

〈職員数〉

24人

(うち、60～64歳 2人、

65～69歳 5人、

70歳以上 3人)

(1) 検討段階

取組の理由を教えてください

ハローワークから介護現場で働くことを志望する方の紹介を受けて面接を行った際、年齢ではなく、その人柄がすごく良く、人と接することが主な業務である介護職員としてご活躍いただけそうと感じたためです。

検討段階でどんな不安がありましたか？

体力的に不安があるのではないか、入浴介助など身体に負荷のかかる介護業務を行うことはできるだろうか、業務を覚えるのが遅いのではないか、という不安がありました。

その不安をどのように解決しようと思いましたか？

人手不足であり、かつハローワークからの紹介が少なかったため、まずは採用し、業務に従事していただくことにしました。

また、業務内容を教える際、新しい事を次々に教えるのではなく、多少時間がかかっても、段階を踏みながら教えるようにしました。



(2) 採用段階

採用区分を教えてください

雇用形態	人数
雇用期間の定めなし	7人
雇用期間の定めあり	1人
勤務時間	人数
フルタイム	1人
パートタイム	7人
業務形態	人数
介護職員	2人
介護助手	5人
看護職員	1人

※介護現場の業務には、高齢者の方それぞれの経験や得意分野などを活かし、年齢に関係なく行える業務があるため、幅広い業務形態で採用しています。

どのような支援制度を活用しましたか？

特定求職者雇用開発助成金

どのような相談窓口を活用しましたか？

特にありません。

採用に際しての取組について教えてください

〈業務の仕分け〉

午前中の業務を大きく「送迎」「ホールでの介助」「調理」に分け、高齢者の方が得意なことを専門としてできるよう、業務のマッチングを行っています。

〈定年の引き上げ〉

正職員については、定年を60歳とし、その後の勤務も65歳までとしています。65歳を超えて雇用している正職員もいます。パートタイムについては、基本的に定年を定めていません。

キャリアアップの例があれば教えてください

以下、実際に雇用している高齢者の方(65歳、女性)の事例です。

60歳頃、パートタイムとして入職し、デイサービスの送迎を担当。(本業として講師の仕事を行いながら、空いた時間で副業として実施。)

↓

デイサービスで行われる活動を見る中で、次第に、本業として行っている創作などの講師として活動に参加してみたいと思うようになり、活動に参加。

↓

母が高齢であり、デイサービスで得た知識等を踏まえながら、母を介護するようになり、デイサービスにおいても介護業務を担当。この頃から、本業の講師の仕事を辞め、扶養の範囲内で勤務を実施。

↓

夫の定年退職に伴い、働ける時間が増えたため、令和2年度(65歳)から正職員として勤務を開始。

(3) 就労段階

業務について教えてください

〈業務内容〉

送迎、調理のみに従事する方だけではなく、入浴や排泄介助等の介護業務一般全てを行っている方もいます。



〈業務上の配慮〉

体力面の不安等を解消できるよう、本人の希望を踏まえ、勤務時間や勤務日数、勤務日(曜日)について配慮しています。

送迎業務については、車椅子介助が必要な方や乗降介助が大変な方の送迎ではなく、ある程度元気な方の送迎のみにご対応いただくよう配慮しています。

また、業務内容について、新しい事を覚えたり、苦手なことを行うよりも、得意な分野を伸ばせる(活かせる)ように配慮しています。

〈指導・管理体制〉

年齢やパートタイム等の働き方、経験年数等に左右されず、職員間や職員と管理者との間で互いに意見を言い合える関係性を作っています。

若いスタッフはアクティブシニアの方と接する際、自分の方が経験が長い場合でも、自分より年齢が高い方であることを踏まえた対応(指導時の伝え方など)に心がけています。

また、アクティブシニアの方に対しても、入職時に、自分よりも年齢が低い方に指導を受けることが多いことを伝えており、本人も理解しています。



(4) 取組の感想

取組のメリットと感ずることは何ですか？

メリットが多いです。

アクティブシニアよりもさらに上の利用者
と接する際、若いスタッフではわからない、
その利用者の生活感、世代間の考えの違いを
埋めてくれています。

一方、利用者よりもアクティブシニアの方
が年上の場合もありますが、同世代として関
わり、若いスタッフには話しづらいことにつ
いて相談に乗るなど、上手に対応してくれて
います。

また、若いスタッフに対して、仕事への心
構えなどを教えてくれています。

介護をする人にとって年齢・性別は関係な
いとはいうものの、介護業務は対人との仕事
であり、アクティブシニアの方が介護業務を
担うことによって、若い方にはなかなか出せ
ない、年齢から来る「安心感」を利用者に与
えることができます。

利用者は、資格の有無等も分からなければ、
経験年数等も知りません。

このため、介護経験の多い若い介護福祉士よ
りも、資格がなく、介護経験が短いアクティ
ブシニアからの言葉をよく聞く利用者もいま
す。

事業所からの感想

あくまでも年齢は一つの目安であり、人
間の成長・老化は、個人差がかなり大きい
ものです。

また、できることや衰えが大きいところ
も様々であります。

当事業所では、アクティブシニアの方々と
話し合いながら、お互いに納得できる働き
方ができるよう配慮しています。

WHOの健康の定義には、「社会的」にも
良好であることが健康であると提唱して
います。

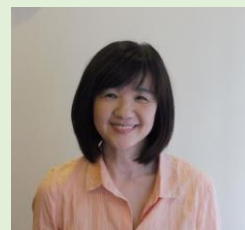
就労ができているということは、健康で
あることだと思っています。働く事で健康
を維持できることもあるため、是非できる
だけ長く介護の仕事を頑張っていたきたい
です。

また、今後自分が介護される側に回る可
能性もあります。そのためにも、介護のこ
とを勉強してもらい、自分が入りたい施設
を自分達で作ってあげて欲しいと思ってい
ます。

デイサービス利用者の「共生」もありま
すが、働く人も皆「共生」だと思います。

ご本人からの感想

布施 喜志子 さん



60歳の年からこの介護のお仕事とご縁が
あり、今年で6年目、他の仕事では感じら
れないやりがいのある仕事だと思います。
自分の特技を活かして、創作活動を自由
に取り組みさせて頂き、感謝しています。
利用者の方々やご家族に喜んでいただ
けた時は何よりも嬉しく、自分の活力にな
っています。

この仕事は、これから自分がどう歳を重
ねていくのか学べる場所でもあり、利用
者の方たちとのおしゃべりは楽しく、そ
れを聞くだけでも自分の糧となります。
この年になっても、まだ自分を必要と
もらえるのは本当に嬉しく、今私はこ
んなに介護の仕事が好きだったんだと
気づきました。

これからも自分らしく楽しく仕事をして
いきたいです。



(2) 医療法人社団楽聖会

①あかねヶ丘ケアセンター 通所介護



〈利用定員〉

23人

〈職員数〉

20人

(うち、60～64歳 3人、
65～69歳 3人、
70歳以上 4人)

②あかねヶ丘ケアセンター 認知症対応型通所介護



〈利用定員〉

24人

〈職員数〉

25人

(うち、60～64歳 1人、
65～69歳 2人、
70歳以上 5人)

③らくせいグループホーム南館



〈利用定員〉

18人

〈職員数〉

13人

(うち、60～64歳 2人、
65～69歳 1人)

(1) 検討段階

取組の理由を教えてください

平均寿命や健康寿命の伸びと共に、平成21年に定年退職を70歳(その後1年毎の更新)としたことが、シニア層の採用に取り組むことになった理由です。

検討段階での不安は何がありましたか？

当法人は認知症介護に力を入れている法人であり、認知症の人を含めたすべての人々への尊厳を大切にす姿勢を方針としているため、年齢を理由とした不安は特に無く、一般採用と同様でした。

その不安をどのように解決しようとしましたか？

一般採用と同様の不安のみでしたので、経験的に学習した採用方法により解決しました。

(2)採用段階

採用の区分を教えてください

①通所介護

雇用形態	人数
雇用期間の定めなし	6人
雇用期間の定めあり	1人
70歳を超え、1年毎の更新	3人
勤務時間	人数
フルタイム	3人
パートタイム	7人
業務形態	人数
介護職員	3人
介護助手	3人
看護職員等	4人

②認知症対応型通所介護

雇用形態	人数
雇用期間の定めなし	3人
雇用期間の定めあり	1人
70歳を超え、1年毎の更新	4人
勤務時間	人数
フルタイム	1人
パートタイム	7人
業務形態	人数
介護職員	1人
介護助手	3人
看護職員等	4人

③グループホーム

雇用形態	人数
雇用期間の定めなし	3人
勤務時間	人数
フルタイム	3人
業務形態	人数
介護職員	1人

どのような支援制度を活用しましたか？

特にありません。

どのような相談窓口を活用しましたか？

特にありません。
ハローワークの求人窓口のみです。

採用に際しての取組について教えてください

〈定年の引き上げ〉

70歳定年で変更はありませんが、70歳を超えた場合でも、労働条件を変更することなく、1年単位で契約期間を更新し、勤務していただくことが可能です。

〈雇用・評価制度〉

年2回の定期面接により、健康状態や意欲を確認しています。

キャリアアップの例があれば教えてください

認知症対応型通所介護事業所にて、介護助手的介護職員として採用した後、70歳時に介護福祉士を取得し、78歳の現在もリーダー的介護職員として活躍している方がいます。

※70歳未満の介護職員については、原則、常勤の正規雇用の職員の求人のみとしています。

一方、介護助手(送迎運行者等)、看護職員等は非常勤の求人があります。

※70歳以上の職員については、1年毎の更新となります。(70歳定年のため。)

(3)就労段階

業務について教えてください

〈業務内容〉

①通所介護

介護職員 : 一般の介護職員と同じ業務
介護助手 : 送迎運行担当
看護職員等 : 一般の看護職員と同じ業務



②認知症対応型通所介護

介護職員 : 一般の介護職員と同じ業務
介護助手 : 送迎運行担当
看護職員等 : 一般の看護職員と同じ業務



③グループホーム

介護職員 : 一般の介護職員と同じ業務



〈業務上の配慮〉

健康状態を含め、本人の要望を反映させています。

〈指導・管理体制〉

通常の職員指導と同じです。

(4)取組の感想

取組のメリットと感ずることは何ですか？

グループホームや認知症対応型通所介護事業所はもとより、通所介護事業所においても、認知症の方も利用されるため、身体的ケアの他、精神心理面のケアも重要になります。

シニア職員は精神心理面でのケアに長けており、重要な戦力となっています。

また、シニア職員は勤勉であり、その仕事ぶりは若年職員へ好影響を与えています。

利用者に近い目線でサービスを提供できることも魅力です。

事業所からの感想

シニア層の活躍に向けては、介護業界に限らず、「定年後のキャリア」を社会の仕組みとして定着させ、いくつになっても活躍できる場があると認識してもらうことが必要ではないかと考えています。

団塊の世代が75歳以上となったとしても、まだまだ元気に働ける方がたくさんいるはずですよ。

年齢を重ねても活発で、精神面も成熟して打たれ強い団塊の世代は、若い世代とは異なる魅力にあふれていると考えています。

ご本人からの感想

①通所介護

東海林 毅 さん



69歳で医療法人社団楽聖会あかねヶ丘ケアセンターに採用され、今年で79歳になろうとしています。

本当にやりがいのある仕事をさせて頂いていると感謝の念に耐えません。

今、できる事を、利用者と一番近い年齢をフルに生かして、できるだけ寄り添った介護をしたいと思っています。

②認知症対応型通所介護

押野 貢得 さん



「ありがとう」の言葉で、今日も手継ぎ介助に一段と笑顔と思いやりが加わる。

デイサービスの一日の始まり。朝のご利用者様の御迎えの時間だ。無事に送迎を終え、一堂に会したご利用者様の「おはようございます」の挨拶に元気な姿と対面し、喜びと安堵感を覚える。トイレ介助や食事介助等、手助けすることが当たり前に行き「ありがとう」と感謝されるこの仕事を選んだ私も高齢者。

まだまだ働ける喜びを胸に、介護の仕事に微力を尽くしてまいります。

③グループホーム

加藤 京子 さん



入職の際に理事長より「若い人だけでは駄目なんです」との言葉に励まされて、現在に至っています。

体力的な厳しさは年々少しずつ感じることはありますが、仕事をするこゝでの現役感かけがえのないものです。

認知症の方々の共同生活を援助するという仕事を少しでも長く続けていきたいと考えています。